

くすりの豆知識

—もっと知りたい! おくすりのこと!—

No.9 薬はいつ服用すればよいのでしょうか

薬は食後に服用することが多いのですが、これは飲み忘れを防ぐためでもあります。しかし、薬によっては食事により吸収が変化したり、食後でも胃腸障害を起こしやすいこともあるため、それぞれの薬に応じて最も適した服用時間が選択されています。

●食前・・・・・・・・食事のおよそ30分位前に服用

食物により吸収が悪くなる薬、食欲を高める薬、また食後に上昇する血糖値を下げる薬などは、食事の30分から1時間前に服用します。

●食直前・・・・・・・・食事のすぐ前に服用

食物（糖質）の吸収を遅らせて食後に血糖値が上昇するのを防ぐ薬、食後の血糖値を速やかに下げるような薬は、食事を始める直前に服用します。

●食直後・・・・・・・・食事のすぐ後に服用

胃腸障害を起こしやすい鎮痛薬などは、食事のすぐ後に服用します。

●食後・・・・・・・・食事のおよそ30分後に服用

薬の飲み忘れや胃腸障害を防ぐための最も一般的な服用方法で、食事が終わり一息入れてから30分後に服用します。

●食間・・・・・・・・食後のおよそ2時間後に服用

食物により吸収が悪くなる漢方薬や、空腹時の胃の粘膜を保護する胃腸薬などは、食後2時間位に服用します。

食事中という意味ではありません。

●～時間ごと・・・・・・・・食事に関係なく指示された間隔で服用

抗生物質など血中濃度をできるだけ一定に保つ必要のある薬

は、決められた間隔で服用します。ただし、睡眠中は多少ずれてもかまいません。

●就寝前・・・・・・・・寝るおよそ30分前に服用

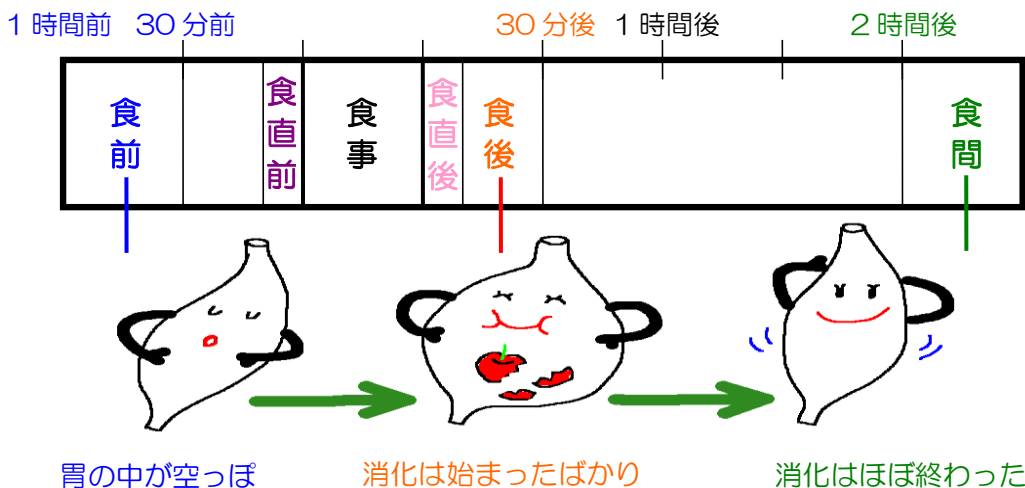
寝る時に効果を期待する睡眠薬などは、寝るおよそ30分前に服用します。

●頓服・・・・・・・・症状に応じて一時的に服用

解熱鎮痛薬、発作改善薬などの、症状を一時的に緩和したい薬は、食事に関係なく症状が起きた時に服用します。なお、飲み過ぎないように、用法用量を必ず守りましょう。

食事の回数を減らしている方は、医師・薬剤師に相談してください。

薬を服用する時間



2018/10/18